

式辞

きた
燕来る。



すがすが
あらゆるものが清々しく、明るく美しい「清明」と呼ばれる季節が来ました。

街中でも時折、燕の姿を見かけるようになりました。燕はこの時期、南の国から飛んで来て、冬はまた南へ帰っていくので、その訪れは本格的な春の始まりを教えてください。

この清々しい春の到来を感じさせる今日の良き日に、武雄市長小松政様、武雄市教育長松尾文雄様をはじめ、武雄青陵高校及び武雄青陵中学校を含め、本校同窓会、PTAの役員の皆様のご臨席を賜り、ここに令和五年度佐賀県立武雄高等学校入学式を挙行できますことを心から感謝申し上げます。

さて、新1年生 236 名の皆さん、ご入学おめでとうございます。本校では、皆さんの入学を心待ちにしていました。

皆さんも今日のこの日を少しの不安と大きな期待で胸を膨らませながら待っていたことでしょう。

本校は「質実剛健・報恩感謝の誠を尽くす」を校是とし、今年度創立百十六年目を迎える歴史と伝統を誇る学校です。外見を着飾らない、内面の充実を尊しとする校風のもと毅然・凜然とした品格ある学徒たらんことを期待しています。

本校には、極めて優秀で教育愛にあふれる先生方や高い志をもって仲間とともに文武に励む先輩たちがたくさんいて、学習や部活動、校外での活動など、自分が望む分野に精一杯打ち込むことができる最高の環境を整えています。

これまで皆さんは、未曾有のパンデミックで様々な制限を強いられ、思い描いていた中学生を送ることができなかったかもしれません。しかし、この最も多感な時期に行動が制限された皆さんは人とともにあることの価値を誰より知っているはずです。

この学校には中学時代よりももっと多様な人たちがいます。人生の喜びや学びの多くは自分とは異なるものを持つ友人と接することからもたらされるものです。



これまでため込んできたエネルギーを解き放って、自分の殻を打ち破り、ぜひ多くの人と出会う場面を愉しんでほしいと思います。

折しも、不確実性の高いこの時代、過去に求めても正解はありません。必要とされるのは新しい発想、新しい考え方です。そこで、私からののはなむけに、「正解を探す」という考え方から「問題を探す」という考え方へ自らを転換させる重要性をお伝えしたいと思います。

このことを「ジクソーパズル」と「ブロック遊び」にたとえてお話ししましょう。

「ジクソーパズル」とは、皆さんもご存じのように、決められた枠の中に、できるだけスピーディにピースをはめ込んで一枚の画を完成させるゲームです。

このパズルゲームのように、工業化に成功した日本では、自分が持っているピースとしての知識を素早く適切に使って、定められた「正解」というゴールに到達する力が求められていました。



ピース、すなわち「知識」が多ければ多いほど、大きくて複雑な絵ができます。したがってピースをため込むこと自体に重要な価値がありました。それがこれまで求められてきた力だと言えます。

しかし、現在の情報化社会、そして皆さんが社会の主役となる Society5.0 と言われる高度情報社会は、そういう時代ではありません。

新型コロナウイルス感染症、SDGs、世界の各地で勃発する戦争や紛争など教科書に載っていない状況に直面し、計画どおりいかなかったり、そもそも何が正解なのか分からなかったりする時代です。

そうした状況下では、「正解を求める」のではなく、「今、何が問題なのか」、「なぜそれが問題なのか」、自分の目でよく観察し、自分の頭で正しく考え、必ずしも同じ価値観ではないかもしれない他者と協働しながら「最適解」を作り上げていくことが大事になってきます。

すなわち、現状をよく見極め、自分の力で「問い」を見出し、皆で持っている「力」を出し合って新しい価値観（最適解）を作り出していく、尝试してみれ



ば色も形も大きさも違うブロックを組み合わせて新しいものを創造、クリエイトしていく力が求められているのです。

それが『正解を探す』という考え方から『問題を探す』という考え方へ転換する」という意味です。

では「問題を探す」時にその指針となってくれるものは何でしょうか。それは「志」です。

江戸時代末期の儒学者である佐藤一斎はその著書『言志録』の中で、「志」について次のように記しています。



「志を立て、これを求めれば、たとえ薪を運び、水を運んでも、そこに『道』はあって、真理を自得することはできるものだ。まして、書物を読み、物事の道理を窮めようと専心するからには、目的を達せないはずはない。しかし、志が立っていなければ、一日中本を読んでも、それは無駄ごとにすぎない。学問をして聖者になろうとするには、志を立てるより大切なことはない」

ここには「志」をもつことの重要性が端的に語られています。

「志」がなければどんなに恵まれた環境にあろうとも何事もなしうることはできません。逆に「志」があればどんな局面におかれても人は成長できます。

どうか皆さん、自分なりの「志」を立てて、それを揺るぎない軸足としてこれからの学校生活を送ってください。この3年間でみなさんは間違いなく大きく成長します。

さて、保護者の皆様、お子様のご入学、誠におめでとうございます。これまで、手塩にかけて育ててこられた、大切なお子様を三年間本校でお預かりいたします。

私たち職員は総力を挙げ、お子様方一人一人にしっかりと寄り添い、責任をもって、教育に当たることをお約束いたします。

先ほども申し上げましたように、本校は優れた指導力を持った職員を揃えております。私たちは「全ての子どもたちを、全ての職員で受け止める」ということをモットーにしております。困ったことがあれば、どの職員でも構いませんので、遠慮なくご相談ください。

また、新学習指導要領の学年進行による実施2年目に当たり、各教科等の学習はもちろんですが、一人一人の強みを引き出し、磨き上げるために、探究型の学習活動や主体的で自律的な部活動、生徒会活動、あるいは「日本の次世代リーダー養成塾」や「武雄市との街づくり参画事業」などの校外活動にこれまで以上に積極的に取り組んで参ります。

いろいろな場面をとおしてお子様の成長をお感じになっていただければ幸いです。

では最後にもう一度、1年生の皆さんにお話しします。

今年は2023年です。皆さんたちの中には、きっと22世紀を見ることができている人いるでしょう。そのころはどんな世界になっているのでしょうか。考えるだけで胸が高鳴ります。

そんな未来に向かって「志」を立て、「レゴブロックを組み立てる」愉しさを味わう人間として、この学校でたくさんの経験を積み重ね、学びの形に整えていってください。

入学おめでとう。今日から3年間一緒に頑張りましょう。

令和5年 4月10日

佐賀県立武雄高等学校長 下村 昌弘